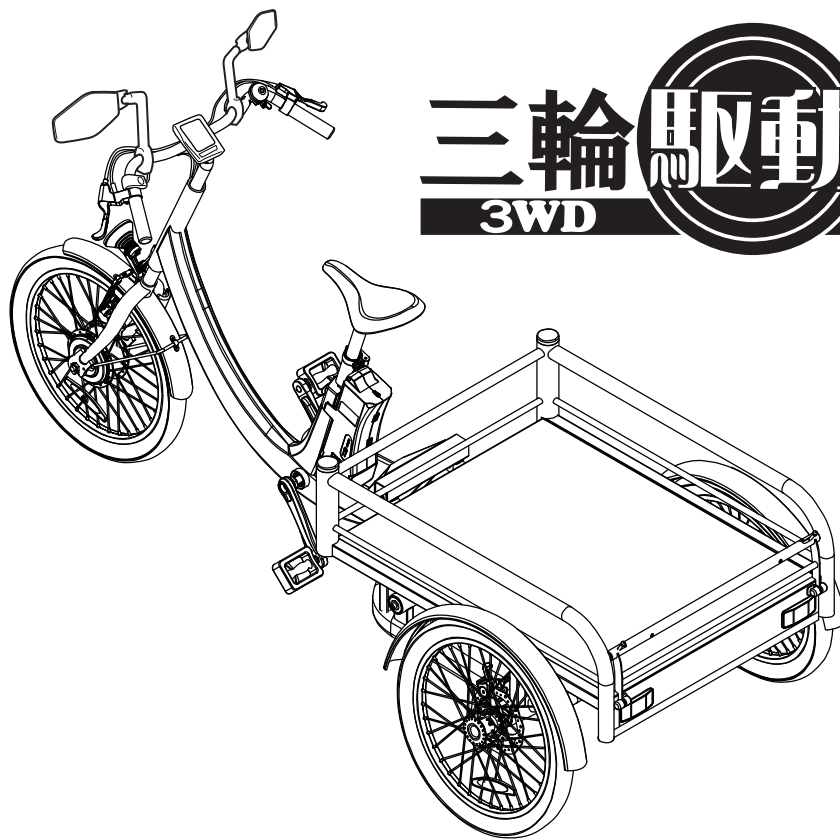


三輪アシスト自転車 三輪駆動静香

取扱説明書



⚠ 警告

・本書を読んで理解するまでは、本製品の運転および保守・点検を行わないでください。

・本書は、本製品の運転または保守・点検を行う場合、いつでも参照できるように大切に保管してください。

4107 5201 000

株式会社 筑水キャニコム

<http://www.canycom.co.jp/>

〒839-1396 福岡県うきは市吉井町福益90-1

.....
ご注文、製品に関するお問合せは
アドバンスオーダーセンター
TEL (0943)75-8055 FAX (0943)75-8060

.....
部品、修理に関するお問合せは
パーツ・サービスセンター
TEL (0943)75-3170(代) FAX (0943)75-5861

連絡先控え(販売店名)

本書について

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品の正しい運転操作および保守・点検方法を知っていただくために、詳しい情報を提供することを目的として作成しています。本製品をご使用になる前に必ず本書を読み、理解された上で、正しい取り扱いをしてください。

なお、本書ははじめて本製品を使用される方を対象として作成しています。

警告

- 本書を読んで理解するまでは、本製品の運転および保守・点検を行わないでください。
.....
 - 本製品の運転操作および保守・点検を行う場合は、必ず本書に従ってください。
.....
 - 本書はいつでも参照できるように大切に保管してください。
-

本製品について

警 告

- 本製品は電動補助（アシスト）がついた三輪自転車です。普通の自転車と異なった部分がありますので、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。





注 意

- 本製品は業務用軽車両です。道路交通法上の一般的な自転車と異なり、歩道を走行することは法令違反となります。
-
- 歩道走行以外については、道路交通法において通常の自転車と同様の法規が適用されます。法規を遵守してご使用ください。

参 照 交通安全ルール…9ページ「交通安全ルールについて」

警告用語について

本書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）にしたがって、警告用語を下記のとおり分類しています。以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意味
 危険	差し迫った危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負う可能性のある場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽傷を負う可能性のある場合に使用されます。また、本製品に物的損害が発生する場合にも使用されます。
 アドバイス	注意を促したい場合、使用上役立つ情報について使用されます。

リース、レンタル業者の皆様へ

注意

- ・本製品を他の事業者または個人に貸し出す際には、取り扱い方法を明確に説明し、使用前に本書を必ず読むよう指導してください。

保証とアフターサービス

●保証について

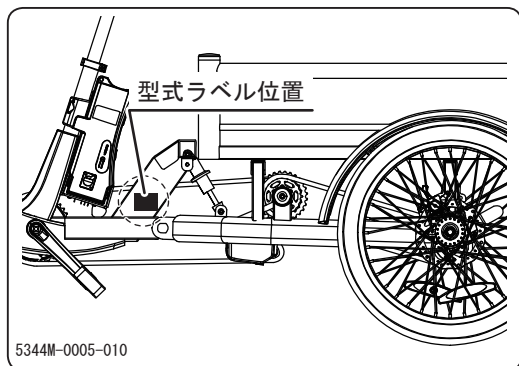
当社は本製品について、保証書の内容に基づいて保証をいたします。保証書の発行にはお客様登録が必要です。製品に同封のお客様登録カードをご記入の上ご送付ください。登録完了までの保証内容については本書巻末に貼付の仮保証書を参照してください。

●型式ラベルについて

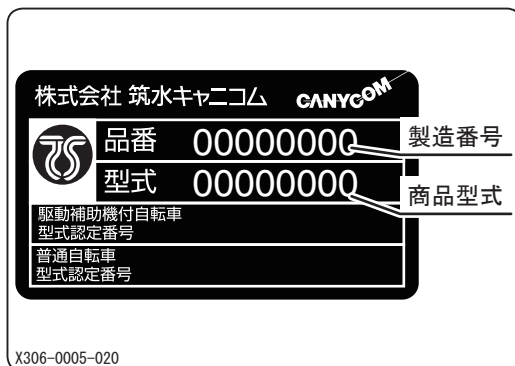
本製品の型式ラベルには、製造番号、商品型式に加え、型式認定済みTSマーク（保険なし）が表示されてみます。この型式認定済みTSマークは国家公安委員会の型式認定を取得した製品のみ表示することができるもので、安心して使用出来る自転車であることを認定するものです。

- ・このTSマークには交通障害保険は付帯していません。
- ・防犯登録時は製造番号が必要となります。

型式ラベル位置



型式ラベル



●防犯登録について

自転車購入時は、法律で防犯登録を行う事が義務付けられています。購入後、最寄りの登録所(自転車販売店など)で防犯登録のお手続きをお願いします。登録所(自転車販売店)については、お住まいの都道府県公安委員会にお問い合わせください。

●アフターサービスについて

ご使用中の不具合、ご不審な点およびサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた販売店または当社センターへお気軽にご相談ください。その際、型式ラベルに記載の商品型式および製造番号を併せてご連絡ください。

●補修部品の供給年限（期間）について

本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後7年とします。

目次

1. 安全に関する注意事項 1

警告ラベル	1
安全上のご注意	2
本体	2
モニタパネル	2
バッテリー	3
充電器	4
電動アシスト三輪自転車を安全に乗る	6
乗る前に	8
乗った後は	9
交通安全ルールについて	9
交通事故を防ぐために	10
自転車で道を走るときのルール・マナー	12

2. 各部の名称とはたらき 14

本製品の特徴	14
各部の名称とはたらき	15

3. 製品仕様 18

本製品の仕様	18
付属品明細	19

4. 運転と操作 20

運転前の準備	20
始業点検	20
バッテリーの充電	23
運転のしかた	29
運転のしかた	29
停止・駐車のみかた	32
モニタパネルの機能と表示	34
積載について	38

5. 保守・お手入れ 39

定期点検について	39
車両の点検	39
注油一覧表	40
注油一覧表	40
注油禁止箇所一覧表	41
注油・注油禁止箇所	42
消耗部品（交換部品）一覧表	43
消耗部品（交換部品）一覧表	43
バッテリーの交換について	44

各部の調節のしかた	45
サドルの調節のしかた	45
ハンドルの調節のしかた	46
ブレーキの調整のしかた	47
チェーン調整のしかた	48
ライトの調節のしかた	48
タイヤ空気圧の調整	49
モニタパネル	50
エラーメッセージ	50
使用後のお手入れ	51
通常使用後のお手入れ	51
長期保管のしかた	53
廃棄	54

6. 不具合発生時の処置 55

不具合診断表	55
--------	----

保証書

本書の巻末に添付

※本製品の取扱説明を受けた後に、受領証と共にお受け取りください。

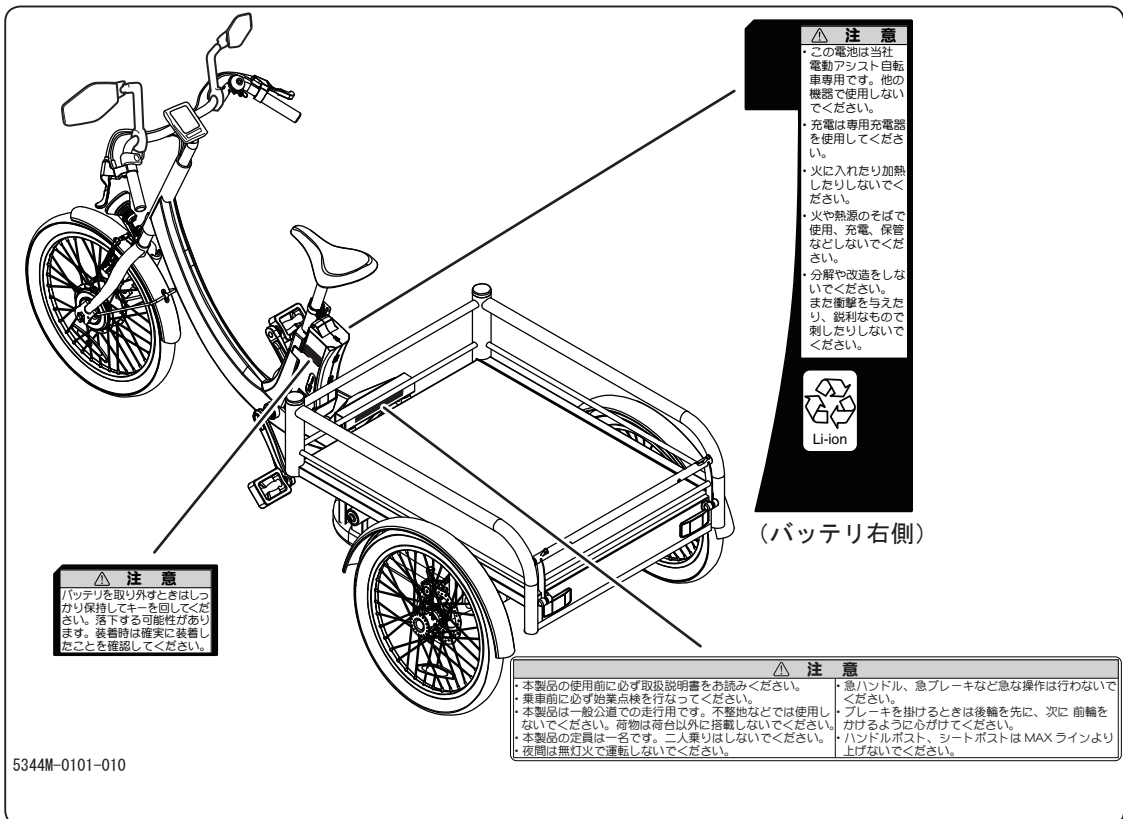
安全に関する注意事項 1

安全に関する
注意事項

警告ラベル

本製品には下記の警告ラベルが添付してあります。この警告ラベルは安全に関して特に注意を要する事項について記載してあります。本製品を使用する際には必ず警告ラベルの指示に従い、禁止事項は絶対に行わないでください。

- ・警告ラベルの位置および内容について十分把握しておいてください。
- ・警告ラベルは内容がわかるようにいつもきれいにしておいてください。また、清掃には有機溶剤やガソリンを使用しないでください。
- ・警告ラベルを損傷・紛失したり判別できなくなったりした場合は、新品と交換してください。部品番号は本書または実物で確認し、販売店へ注文してください。



① 安全に関する注意事項

安全上のご注意

運転時に必ず守っていただきたい一般安全事項を記載しています。運転時には各章に記載されている安全事項についても必ず従い、安全運転を心がけてください。

● 本体

- サドルやハンドルは「はめ合わせ限界標識」が見える状態で乗らない
サドルやハンドルの折れにより、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
- 改造や分解、また指定以外の注油はしない
部品の破損や、ブレーキが効かなくなって転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
- 歩行者などに危害をおよぼすおそれのある改造はしないでください。
車軸など歩行者に触れる可能性のある箇所に突出物を付けないでください。
- 調整後の締め付けを確認せずに乗らない
(車輪の脱着やサドル・バッテリーライトなど)
車輪などが外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

● モニタパネル

- 電極にコインやヘアピンなどの電気を通す物が触れないようにしてください。
感電する恐れがあります。また故障や火災の原因になります。

安全に関する注意事項 1

- モニタパネルの取り外しは電源を切ってから行ってください。
電源ONのときに取り外しますと走行距離データが正しく保存できない等の故障の原因になります。
- モニタパネルを取り外した状態で放置する際は電極のスライドカバーを閉じてください。
電極が濡れますと微弱な電流が流れ、故障の原因になります。

● バッテリ

- 当社電動アシスト自転車専用の回生充電対応バッテリーです。この機器以外には使用しないでください。
- 専用充電器を使用してください。
- 火への投入、加熱をしないでください。
- クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解、改造をしないでください。
- (+) と (-) を金属などで接触させないでください。
ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 火のそばなど高温の場所で充電・使用・放置しないでください。
- 水を入れたり、水中に投下しないでください。
端子部から水を入れるとショートして、発熱、発火破損の原因となります。
- バッテリ内部に明らかに水が浸入したと思われる場合は使用を停止し、販売店で点検をうけてください。

① 安全に関する注意事項

- 傷ついたまま使用しないでください。
ケースなど、破損したまま使用すると液漏れのおそれがあり、目に入った場合失明のおそれがあります。
- 大雨等で自転車本体（バッテリー部）が水に浸かった場合、使用しないでください。
不意にアシストが停止する場合があります、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。
- 本自転車は生活防水性能を備えていますが、大雨等によりバッテリー内部に水が入った場合は使用を停止し、販売店で点検をうけてください。

● 充電器

- 当社電動アシスト自転車バッテリーの充電以外の使用、また分解、改造は絶対しないでください。
バッテリーの液漏れ、発熱による火災のおそれがあります。
- 充電端子を金属でショートさせないでください。
発熱、発火、感電のおそれがあります。
- 充電しないときは、端子カバーをかぶせておいてください。
- ケース、コード、プラグが痛んだものや、AC100V電源以外は使用しないでください。
痛んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因になります。補修用コードプラグを使用してください。
- 充電器のコードプラグが痛んだ場合、販売店にご注文下さい。
- 幼児やペットが触れる所に放置しないでください。
感電・故障・火災の原因になります。

安全に関する注意事項 1

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
感電のおそれがあります。
 - コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
 - 充電端子や電源プラグのほこり等は定期的にとってください。
ほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。 ●
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
 - 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
 - 電源コードを充電器本体に巻きつけて保管しないでください。
電源コードやプラグが断線し、痛んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因になります。
 - 充電端子部にボタン・コイン電池を接触させないでください。
ボタン・コイン電池が破裂し、発火のおそれがあります。
 - 充電しないときは、端子カバーをかぶせておいてください。
 - 落下、衝撃、および水漏れをさせないでください。
- 発熱、発火、感電のおそれがあります。
- 充電中はカバーをはずしたり、上に物を置かないでください。
内部が発熱し、火災のおそれがあります。
 - 充電中は長時間、皮膚の同じ場所で触れないでください。
充電中は、40℃～60℃になる場合があります、低温やけどのおそれがあります。

① 安全に関する注意事項

● 電動アシスト三輪自転車を安全に乗る

- 電動アシスト自転車に馴れるまでは、車が通らない平坦な場所（公園や広場等）で十分練習してください。

転倒や衝突事故によるけがのおそれがあります。電動アシスト自転車になれるまでは標準走行してください。

- けんけん乗り（けり乗り）はしないでください。

転倒や接触事故によるけがのおそれがあります。

※けんけん乗り（けり乗り）とは、片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗り方です。

- 必ずサドルにまたがって、発進してください。

- バッテリーが確実に装着されているか確認してください。

走行中にバッテリーが脱落し、転倒によるけがのおそれがあります。

- 停車中は、前後ブレーキをかけた状態にし、ペダルに足を乗せないでください。

不用意なアシスト力が働き転倒や接触によるけがのおそれがあります。

- 発進時は、ペダルを強く踏みこまないでください。

思わぬ急発進により転倒や衝突事故によるけがのおそれがあります。

- 一般の自転車のように強く踏み込まなくても、楽に発進することができます。

- バッテリー残量が少ない状態（手元スイッチのLED点滅状態）のときには、上り坂で乗車しないでください。

アシストが切れたときに、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

安全に関する注意事項 1

- 走行中、手元スイッチの電源を入り切りしないでください。
上り坂や発進時、アシストが切れたときに、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。
- 必ず停止して、電源の入り切りをしてください。
- 歩道の段差や溝、凹凸の激しい路面を走らないでください。
車体が傾き、ハンドルをとられて転倒し事故によるけがのおそれがあります。
- 駐輪時はパーキングブレーキを必ずかけてください。
ひとりでの動き出して事故によるけがのおそれがあります。
- 荷台に人を乗せないでください。
幼児の手足が車輪にはさまれたり、幼児が放り出されたりして、事故によるけがのおそれがあります。
- 片側に傾いている道、下り坂、カーブではスピードを出さないでください。
ハンドルをとられて転倒し事故によるけがのおそれがあります。
- 夜間走行時は必ずライトを点灯してください。
ライトが点滅状態や消灯状態で走行するのは法令違反です。ライトが点灯しなくなった場合は車両を押し歩いてください。
- ジグザグ走行しないでください。
バランスを崩し、転倒し事故によるけがのおそれがあります。
- 走行中に急旋回しないでください。
バランスを崩し、転倒し事故によるけがのおそれがあります。

① 安全に関する注意事項

● 乗る前に

● まず車体を体に合うよう調節してください。

● 操作して確認してください。

① 円滑なペダリングができる。

② ブレーキや変速機が確実に操作できる。

③ ハンドル操作が容易にできる。

上体は軽く傾く程度に

ヒジが軽く曲がる程度に

ヒザがハンドルに当たらないように

ペダルはつま先で踏む

両足が地面に着くように

● 必ず点検をしてください

● 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。

● わからないときは販売店に相談してください。

● 未組立および未調整の自転車は使用しないでください。

● 安全な服装で乗ってください。

車輪に巻き込まれやすい服装はしないでください。自転車用ヘルメットの着用を推奨します。また、夜間に運転する場合は反射材付きの衣服の着用を推奨します。

● ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。

● 乗る練習は必ず行ってください。

練習を空き地や公園など安全な場所で、行ってください。よく練習してから一般道路でお乗りください。

安全に関する注意事項 1

●乗った後は

- 決められた場所に駐輪してください。

駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所に駐めましょう。

- 盗難防止のため、必ずカギをかけましょう。

- 自転車放置禁止。

自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

●交通安全ルールについて

自転車の交通安全ルールを守りましょう※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

- 自転車とは、車道通行が原則です。

歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。

- この車両は次の様な場合でも、歩道通行はできません。

自転車歩道通行可の標識等で指定されている場所。

運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。

車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。

- 60Kgを超える荷物は積載できません。

この車両の構造上の最大積載量は60kgですが、法規上の軽車両の最大積載量は各都道府県公安委員会の規則により異なります。構造上、法定上の限度のうち少ない方の数値がこの車両に許される最大積載量となります。使用者の責任で確認の上、順守してください。

① 安全に関する注意事項

- 夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう。
夜の点滅状態や無灯火での運転は交通違反です。暗いところではライトを点けて通行しましょう。
- 次のような運転はしないでください。
ヘッドフォンを使用しながらの運転。
傘さし運転。
携帯電話を操作しながらの運転。
- 並進、飲酒運転は禁止されています。
「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
飲酒運転は禁止です。道路交通法で飲酒運転となります。

● 交通事故を防ぐために

- 交通事故を防ぐために
自動車や子供に注意！安全を確認し、乗りましょう。
車の横を走るときに！開くドアや人の飛び出しに注意する！
学校や公園が近くにあるときに！子供の飛び出しに注意する。
交差点を通るときに！左折車に巻き込まれないように注意する。
- 転倒事故を防ぐために
こんな時
雨・風・雪のひどいときは乗らない。
バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。
合図以外は、ハンドルから手を離さない。
バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

安全に関する注意事項 1

こんな場所

滑りやすいところでは乗らない（積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど）

スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。降りて、歩いてください。

●こんな乗り方

巻き込みやすいものを車輪やギヤに近接させて乗らない（長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど）

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

土踏まずやかかとでペダルを踏まない

カーブでつま先が前車輪にあたり転倒によるけがのおそれがあります。

滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない

荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

●こんな使い方

走行以外に使わない（踏み台代わりなど）

転倒によるけがのおそれがあります。

スポークの間に固形物（ボールなど）を入れて走らない

車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

① 安全に関する注意事項

● 自転車で道を走るときのルール・マナー

- 自転車横断帯があればそこを通行する！
- 駐輪禁止の場所にとめない！
- 交差点進入は矢印のように！
- 発進するとき前後左右の安全を確かめて走り出す！
- 自転車は車両用信号に従って！
- 信号機のある交差点では右折時は2段階右折を！
- 車の死角に入らない！
- 左に曲がる車に注意！
- 駐車中の車のドア開閉に気をつけて！
- ジグザグ運転はしない！
- 右に曲がるときは手のひらを下にして右手を水平に！
- 左に曲がるときは右手をあげて！
- 酔っ払い運転はしない！（道路交通法で刑事処分の対象になります）
- 止まるときは右手を下に！
- 車道の左側を一列で走行する！

安全に関する注意事項 1

- 携帯電話は使用しない！
- 2人乗りはしない！

② 各部の名称と働き

● 本製品の特徴

本製品は電動補助（アシスト）システムが付いた三輪自転車です。

免許証が不要です

本製品は運転免許証なしで乗ることができます。業務用軽車両となるため、歩道を走行することはできません。それ以外は通常の自転車と同じ交通法規が適用されます。

アシストの働きで楽に乗れます

ペダルを一定以上の力で踏むとアシストが働き、一般の三輪自転車よりも軽い踏力で走行できます。（アシストの度合いは、乗る人の踏力や道路の状況、乗員と積載物を含む総質量等の条件により異なります。）

なお、次の場合はアシストは働きません

- ・ 時速が24km/h以上のとき
- ・ ペダルを踏む力が弱いとき
- ・ ペダルの回転を止めているとき
- ・ バッテリー残量がないとき

リチウムイオン・バッテリーを使用しています

軽量で安全性に優れたリチウムイオン・バッテリーを使用しています。バッテリーに充電できる容量が減ってゆくメモリ効果もありません。

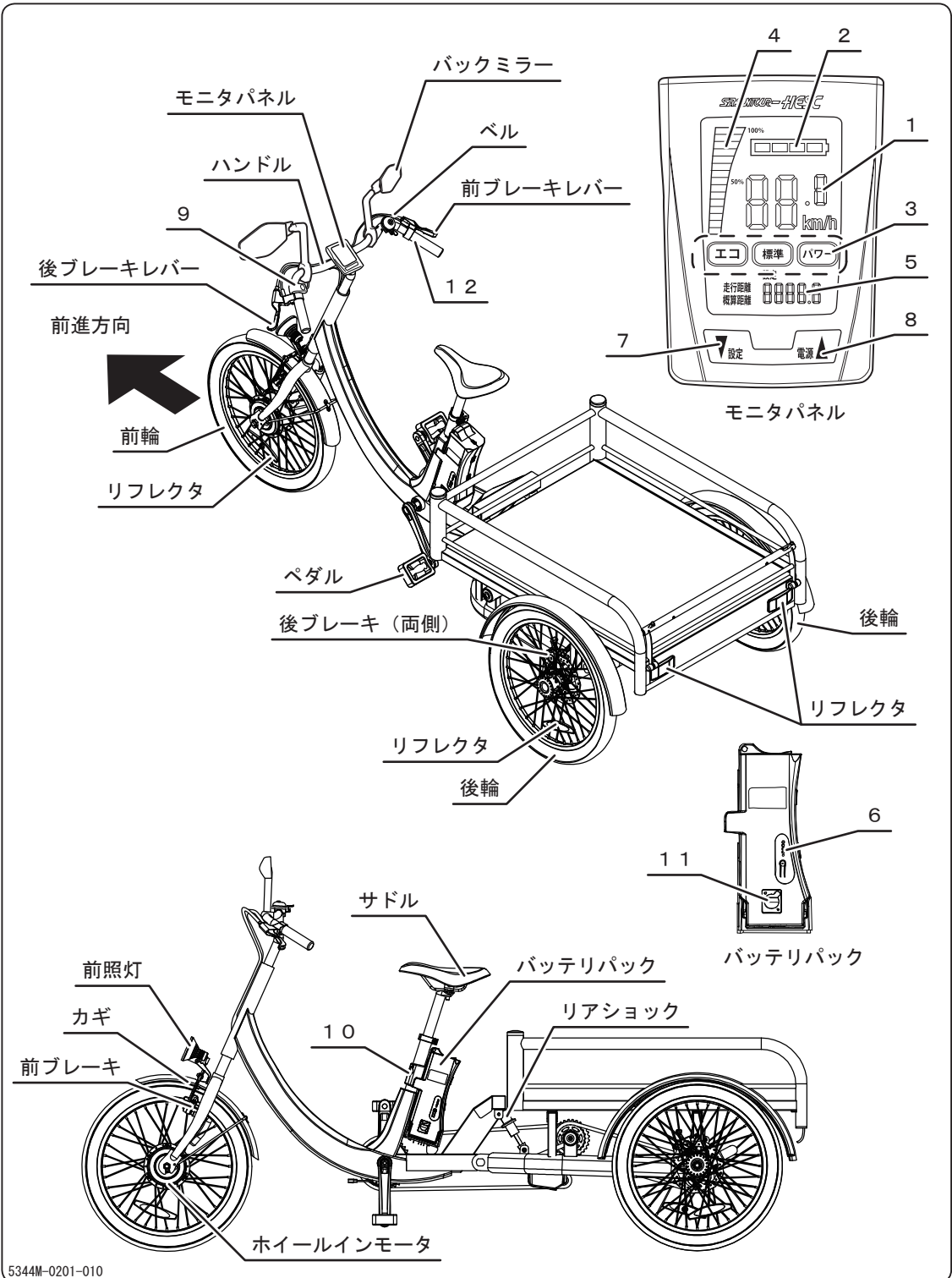
バッテリー残量がなくなっても走行できます

バッテリー残量が無くなっても、通常の三輪自転車と同様に走行できます。

- ・ バッテリー残量がなくなったときはアシストは働きませんので、走行に必要な踏力が大きくなります。
- ・ バッテリー残量がなくなってもライトは点灯します。夜間に故障等でライトが点灯しない場合は押し歩いてください。夜間の無灯火や点滅状態での走行は法令違反です。

各部の名称と働き ②

●各部の名称と働き



5344M-0201-010

② 各部の名称と働き

- 1 スピードメータ …………… 車速を表示します。エラー発生時にはエラーコードを表示します。
- 2 バッテリー残量計 …………… バッテリーの残量を表示します。また、回生動作（※1）時は回生動作中であることを示します。
- 3 アシストモード表示 …… 現在の走行モードを表示します。走行モードには「エコ」「標準」「パワー」があります。また、モータ、またはコントローラの温度異常時は点滅して以上を知らせます。
- 4 モータ電力表示 …………… モータへの供給電力量を16段階で表示します。
- 5 走行距離表示 …………… 走行距離と積算距離を表示します。表示の切替は情報ボタンで行います。エラー時はここに「Error」と表示され、スピードメータにエラーコードが表示されます。
- 6 バッテリー残量計 …………… PUSHボタンを押すとバッテリーの残量を表示（バッテリーパック）
…………… バッテリーパックがスタンバイモードになったとき、またはエラーが発生したときは点滅して知らせます。

各部の名称と働き ②

- 7 設定ボタン …………… 走行距離と積算距離を切り替えます。電源ボタンと合わせ、アシストモードを切り替えます。
- 8 電源ボタン …………… 長押しで電源の入・切を行います。通常に押しとアシストモードを切り替えます。
- 9 クイックボタン …………… クイックボタンを押して漕ぐと、アシストのかかり始めが早くなります。坂道発進の時などに使用します。
- 10 バッテリロック ……… 盗難防止のためバッテリーパックをロックします。
- 11 充電器コネクタ …………… 充電器のケーブルを接続します。充電は必ず専用充電器を使用してください。
- 12 シフトグリップ …………… 変速機の操作を行います。
- ※1 減速時にアシストモーターを発電機として使い、ブレーキ力を発生させるとともにバッテリーを充電する機能。

③ 製品仕様

● 本製品の仕様

⚠ 注意

- ・ 本製品の仕様を理解した上で、正しく使用してください。

製品仕様

名称・型式		三輪駆動静香	
		EJ06	
機 械 質 量		61.0kg	
フ レ ー ム 形 式		U型	
機 械	全 長	2165mm	
	全 幅	895mm	
機 寸	ハ ン ド ル 高 さ	915mm	
	サ ド ル 高 さ	810mm - 1040mm	
	軸 間 距 離	1550mm	
法 式	ト レ ッ ド (後 輪)	840mm	
	荷 箱 内 寸 (長 さ × 幅)	820mm × 635mm	
法 式	最 低 地 上 高	175mm	
駆 動 方 式	駆 動 方 式 (人 力)	チェーン式後2輪駆動 (デフ付)	
	変 速 機 形 式	外装7速	
動 方 式	駆 動 方 式 (ア シ ス ト)	インホイールモータ式前輪駆動	
	モ ー タ ー 形 式	直流ブラシレスモータ	
動 方 式	定 格 出 力	0.25kW	
	ア シ ス ト 制 御 方 式	踏力比例制御	
制 動 方 式	前 輪	ワイヤー式Vブレーキ	
	後 輪	油圧式ディスクブレーキ	

製品仕様 3

名称・型式			三輪駆動静香
			EJ06
バッテリー	型式		BATT-R-01
	種別		リチウムイオン
	容量		36.2V 6.45Ah (30セル)
	質量		1.95kg
充電器	型式		CHARGE-01
	電源電圧		100V~240V (AC)
	充電時間		4.5時間
	消費電力		84W
	待機消費電力		3W以下
性能	対応バッテリー		BATT-R-01
	アシスト対応速度		24km/h未満
	1回の充電で の走行距離		35km (標準モード) *1
能	最小回転半径		1610 mm
灯火類	前照灯		バッテリー式
	リフレクタ		前後車輪、荷箱後端、ペダル

※この仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

*1 環境温度は20±5℃、無風の状態、バッテリーは新品、バッテリーライトは消灯状態、車載重量（乗員と荷物の合計）65kg、路面は乾燥した平滑な路面、タイヤ空気圧は標準空気圧。

●付属品明細

No.	部品名	個数	備考
1	取扱説明書	1	本書
2	充電器	1	
3	お客様登録カード	1	

4 運転と操作

運転前の準備

● 始業点検

警告

- ・ 運転の前には必ず始業点検をおこない、異常箇所はただちに補修してください。
 - がたつきがある箇所はしっかり固定してください。
 - 調整が必要な箇所はただちに調整してください。
 - 油脂などで補給が必要なものはただちに補給してください。
 - 変形、脱落、異常摩耗などがある部品はただちに交換してください。
 - ブレーキ、チェーンは特に車両の走行安全に取って重要です。以上がある場合はただちに販売店で修理、調整を行なってください。
-
- ・ 使用開始後2ヶ月以内に販売店で初期点検を受けてください。また、1年毎または以上を感じた場合にも、販売店で点検を受けてください。

始業点検表

点検箇所	点検内容	参照
ハンドル	固定され、がたつきはないか	46ページ
	はめ合わせ限界線が見えていないか	46ページ
ブレーキレバー	固定され、がたつきはないか	
	円滑な作動をするか	
	よく効くか	
前ブレーキ	円滑な作動をするか	47ページ
	ブレーキシューは摩耗していないか	47ページ
	異物は付着していないか	
後ブレーキ	円滑な作動をするか	48ページ
	ブレーキパッド、ローターは摩耗していないか	48ページ
	異物は付着していないか	
	ブレーキフルードは充分入っているか	48ページ
フレーム、フロントフォーク、リア荷台	変形はないか	
	ひび割れ、しわはないか	
	がたつき、ゆるみはないか	
泥除け	固定され、がたつきはないか	
	変形はないか	
	タイヤに当たっていないか	
リフレクタ	汚れや割れはないか	
	適正な方向を向いているか	
ライト	固定され、がたつきはないか	
	点灯するか	
	適正な方向を向いているか	48ページ
タイヤ	固定され、がたつきはないか	
	適正な空気圧か	49ページ
	摩耗、切傷はないか	
	異物が付いていないか	
	スポークに折れ、曲がりなどの変形はないか	
	リムに変形はないか	

4 運転と操作

点検箇所	点検内容	参照
サドル、シートポスト	はめ合わせ限界線が見えていないか	45ページ
	固定され、がたつきはないか	45ページ
	適正に調整されているか	45ページ
チェーン	空回りしないか	
	油切れしていないか	
	適正な張りになっているか	48ページ
	異物が噛みこんでいないか	
チェーンガード	割れ、変形はないか	
	固定され、がたつきはないか	
ペダル、ギアクランク	割れ、変形はないか	
	固定され、がたつきはないか	
リアショック	固定され、がたつきはないか	
	オイル漏れはないか	
モニタパネル	電源ははいるか	30ページ
	適正な表示がされるか	30ページ
	固定され、がたつきはないか	
	ケースにクラックなどの異常はないか	
駆動モータ	傷や変形などの異常はないか	
	電源を入れて異音はないか	
	電源を入れて異臭はしないか	
	電源を入れて高温にならないか	
バッテリー	残量表示されるか	28ページ
	ケースにクラックなどの異常はないか	
	本体装着し、ガタつきなく組み立てられるか	29ページ
ハーネス類	ハンドル操作して引っ掛かり、つっぱりなどはないか	
	フレームから垂れ下がっていないか	

● バッテリーの充電

⚠ 危険

・リチウムイオンバッテリーの取扱には潜在的な危険が伴います。以下の項目を厳守してください。

- 充電は専用充電器で行なってください。
- バッテリーは指定されて機器・用途でのみ使用してください。指定された用途以外では使用しないでください。
- 充電器を介さず直接電源コンセントや車のシガーライターに接続しないでください。
- 決められたプラス・マイナスの向きで接続してください。
- 電極に直接ハンダ付けなどを行わないでください。
- バッテリーを熱源のそばや高温になる環境で充電や保管、放置しないでください。
- バッテリーを炎やパイロットランプの近くで充電や保管、放置しないでください。また、火の中に投入したり、ハンダゴテなどで加熱しないでください。
- バッテリーにクギなどで穴を開けないでください。
- バッテリーに衝撃を与えないでください。
- バッテリーパックを分解しないでください。
- バッテリーを高圧容器や電子レンジなどに入れないでください。
- ひどく壊れたり、変形、または膨張したバッテリーを使用しないでください。

.....

・バッテリーや充電器の電極を触らないでください。また、金属を接触させないでください。

4 運転と操作

⚠ 危険

- バッテリーや専用充電器を濡らしたり、水没させたりしないでください。また、濡れた手で取り扱わないでください。
-
- 引火物の近くや引火雰囲気中で充電しないでください。

⚠ 警告

- バッテリー、専用充電器は幼児やペットの手の届くところに置かないでください。
-
- 専用充電器の取り扱いに関し、次のことを厳守してください。
 - 専用充電器は指定されたバッテリーの充電以外の目的で使用しないでください。
 - 専用充電器は家庭用コンセント（100V）以外で使用しないでください。
 - 専用充電器を分解したり、改造したりしないでください。
 - 専用充電器の電源コードを無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどしないでください。電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。電源コードが損傷（断線、芯線の露出など）している状態で使用しないでください。
 - 専用充電器の電源コードの上に重いものをのせたり、クギなどで固定したりしないでください。また、電源コードを束ねたり、丸めた状態で充電しないでください。

⚠ 警告

- 充電中の専用充電器に長時間皮膚の同じ位置で触れないでください。

• 充電中の充電器やバッテリーの上に物を置いたり、複数の充電器やバッテリーを重ねたり、密着させて充電しないでください。

.....

• 充電は平坦で安定した場所で行なってください。

.....

• 一定時間内に充電が完了しない場合は、バッテリーの充電を中止してください。

.....

• 使用、保管、充電時にバッテリーの異常（異臭、発熱、変色、変形、異音など）に気付いたときは、ただちにバッテリーを機器や充電器から取り外し、使用しないでください。

.....

• バッテリーが漏液したり、異臭がするときにはただちに火気より遠ざけてください。液漏れした液が皮膚や衣服にかかった場合は急いできれいな水でよく洗い流してください。液が目に入った場合は、目をこすらず、きれいな水で洗眼し、医師の診断を受けてください。

.....

• バッテリーを廃棄する場合は、端子をビニールテープなどで絶縁し、お近くの販売店までお持ちください。

4 運転と操作

⚠ 注意

- ・専用充電器やバッテリーの電極にゴミや異物、水などが付着しないようにしてください。
- ・バッテリーの放電中は、可燃物を上に置いたり覆ったりしないでください。
- ・バッテリーを長時間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保管してください。
- ・バッテリーの使用時間が通常よりもはるかに短くなったときは交換してください。

👉 アドバイス

本製品はリチウムイオン・バッテリーを使用しています。リチウムイオン・バッテリーは小型軽量で、大きな電流を取り出せる、高性能なバッテリーです。また、メモリ効果（継ぎ足し充電を繰り返すとバッテリー残量が見かけ上低下する現象）がないため、いつでも継ぎ足し充電を行えます。

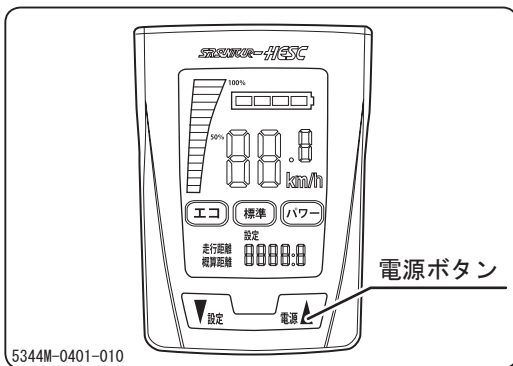
（※リチウムイオンバッテリーでも、充放電を繰り返すうちに容量が少なくなり、交換が必要になります。）

- ・バッテリーの性能は使用環境の温度に影響されます。
 - 夏場の高温下で長い坂道を登ったりしてバッテリーやドライブユニットに負荷がかかると温度が上がり、システム保護のためにアシスト力が低下することがあります。温度が適正になれば回復します。シフト位置を通常より下げ、アシストへの負荷を下げると症状が出にくくなります。

運転と操作 4

- 冬場の寒い環境下（約10℃以下）ではバッテリーの出力効率が下がり、走行距離が短くなったり、アシスト力が低下することがあります。バッテリーを温かい室内で保管することで症状を軽くすることができます。

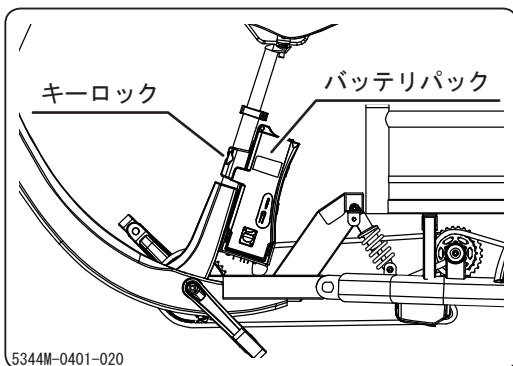
- 使用しない場合でも、バッテリーは自然放電します。
 - 使用する前に充電すれば回復します。
 - 完全放電するとバッテリーは充電できなくなります。早めに補充電してください。1ヶ月以上使用しない場合は車体から外し、50%程度充電してから涼しい湿気のない場所で保管してください。
 - リチウムイオンバッテリーは高温化にさらされるのが苦手です。高温下では保管しないでください。
- 新品バッテリーを最初に使用するときは、満充電まで充電してから使用してください。



- 1 モニタパネルの電源ボタンを長押しし、電源をOFFにします。

アドバイス

- 電源が入っていない場合はこの操作は必要ありません。

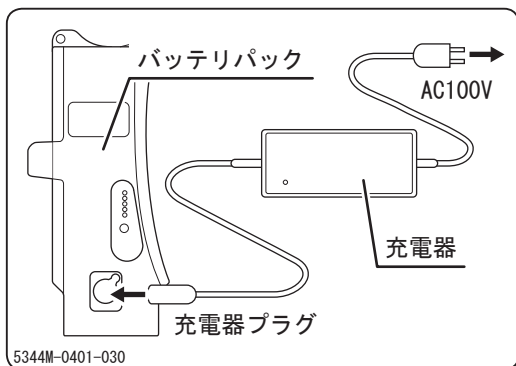


- 2 キーロックをキーで解除し、バッテリーパックを車体から取り外します。

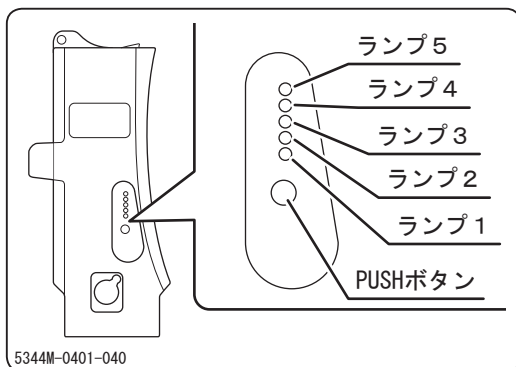
4 運転と操作

アドバイス

- ・バッテリーパックを取り外すときは手で確実に保持してからロックを解除してください。バッテリーパックが落下する可能性があります。



3 充電器を接続します。



4 PUSHボタンを押して充電状態を確認します。

電池残量

ランプ1点灯：0～20%

ランプ1～2点灯：20～40%

ランプ1～3点灯：40～60%

ランプ1～4点灯：60～80%

ランプ1～5点灯：80%以上

アドバイス

- ・バッテリーに異常が発生した場合はランプ1～5が全て、1秒間隔で点滅します。異常が発生したバッテリーはできるだけ早めに交換してください。
- ・使用環境温度が高い場合や低い場合は、バッテリーを保護するために充電や放電を制限するスタンバイモードになることがあります。スタンバイモードになるとランプ1～5が全て、2秒間隔で点滅します。気温が涼しくなったり、暖かくなると通常モードに復帰します。

- 5 充電器を取り外し、バッテリーを車体に取り付けロックします。

運転のしかた

●運転のしかた

⚠ 警告

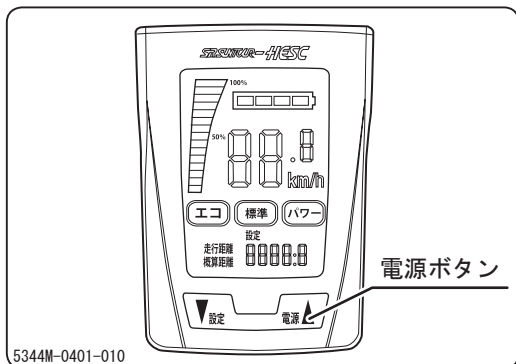
- ・本製品は電動補助（アシスト）がついた三輪自転車です。運転特性など普通の自転車と異なった部分がありますので、取扱説明書をよく読み、特性に慣れた上で正しく安全にご使用ください。
- ・本製品の乗車定員は1名です。絶対に乗車定員を超えないでください。
- ・発進時は必ず周囲の安全を確認し、走行時は周囲の交通状況や路面の状態、勾配などに応じた速度で走行してください。
- ・急発進・急加速・急旋回を行わないでください。運転者が振り回されたり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあります。
- ・傾斜地では低速で走行・旋回してください。運転者が振り回されたり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあります。また、車両の安定角度を越える急傾斜地では運転しないでください。
- ・走行中に電源スイッチを[切]にしないでください。

4 運転と操作

⚠ 注意

- 本製品は業務用軽車両です。道路交通法上の一般的な自転車と異なり、歩道を走行することは法令違反となります。
- 歩道走行以外については、道路交通法において通常の自転車と同様の法規が適用されます。法規を遵守してご使用ください。

運転と操作



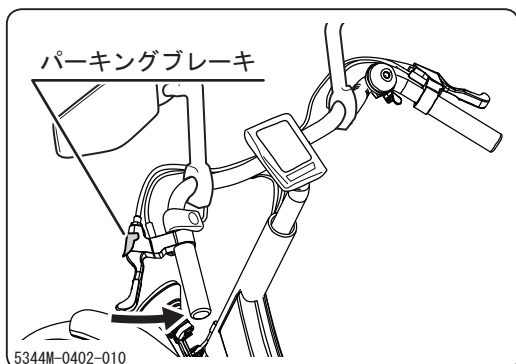
5344M-0401-010

1 サドルにまたがります。

2 ペダルを踏まずにモニタパネルの電源ボタンを長押しし、電源を入れます。

アドバイス

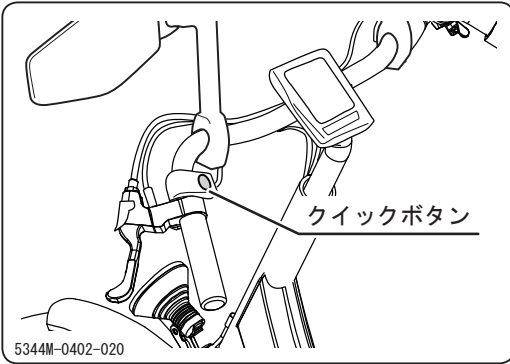
- 電源投入時にペダルが動くとエラーが出ることがあります。その場合は一度電源を切ってから再投入してください。



5344M-0402-010

3 パーキングブレーキを外します。

運転と操作 4



3 ペダルを漕いで発進します。

アドバイス

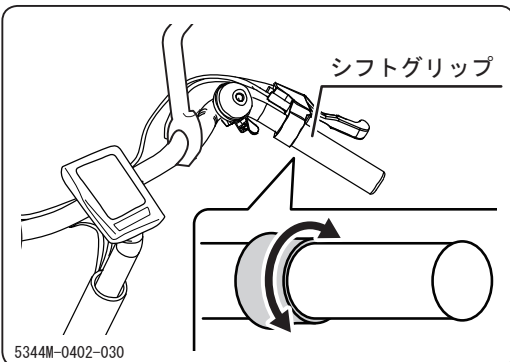
- 坂道発進のときはクイックボタンを押したまま漕ぎ始めると、アシストが早くかかり、楽に発進できます。
- 誤動作防止の為、通常はペダルを一定角度回さないとアシストがかからないようになっていますが、アシストボタンを押すと少ない角度でアシストがかかるようになります。

5 旋回する場合は、通常の自転車と同じ様にハンドルで操舵します。

6 加速するときには、通常の自転車と同じ様にペダルを漕ぐ速度を速めます。

アドバイス

- 車速が24km/h以上になるとアシストはされません。

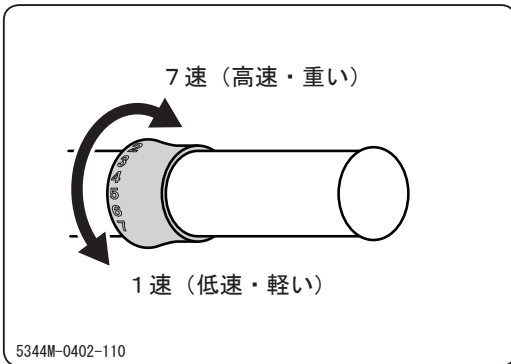


7 変速するときには、シフトグリップを回して変速します。

アドバイス

- 変速をするときはペダルをこぎながら変速してください。停止状態で変速操作を行うと変速機が破損します。

4 運転と操作



アドバイス

- 変速は7段あります。段数が多いほど高速が出せますが、ペダルが重くなります。



ブレーキレバーを握って減速します。

アドバイス

- ブレーキをかけるときは後ろブレーキを先にかけてください。

● 停止・駐車のしかた

警告

- 急停止を行わないでください。運転者が転倒したり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあります。
- 停止時は周囲、特に後方からの交通を確認し、危険な場所には停止しないでください。
- 雨天には制動距離が長くなります。スピードの出し過ぎに注意し、ブレーキは早めにかけてください。

警告

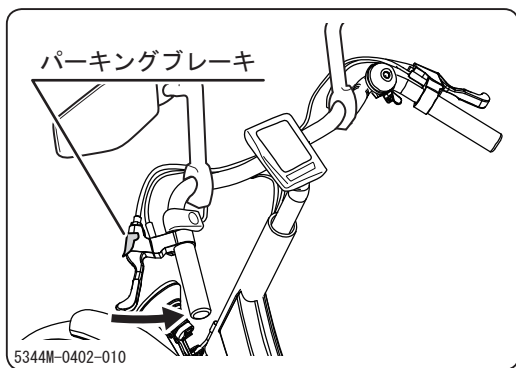
- ・ 駐車時は必ず駐車ブレーキをかけてください。
- ・ 駐車時は周囲の交通の邪魔にならない場所に駐車してください。歩道上、駐車禁止の道路上での駐車は法令違反となります。
- ・ 燃えやすいものの近くには駐車しないでください。
- ・ 傾斜地には駐車をしないでください。やむなく傾斜地に駐車する場合は、輪止めをしてください。

- 1 ブレーキレバーを握って停止します。
- 2 停止中はペダルから足を下ろしてください。

アドバイス

- ・ ペダルの動きを検知してアシスト機能が働きますので、確実に停止するためにペダルから足を下ろしてください。

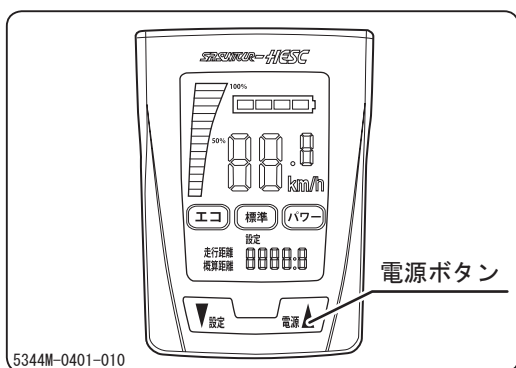
4 運転と操作



3 駐車をするときは、後ブレーキレバーをいっぱい握りこみ、パーキングレバーを引きます。

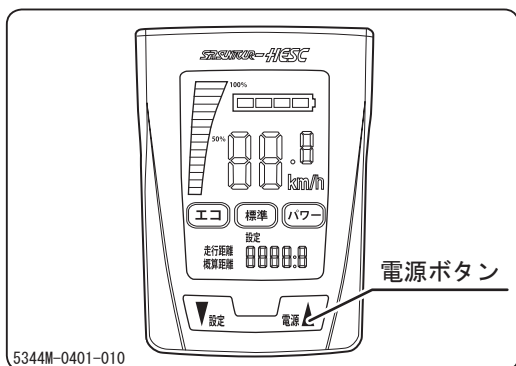
4 パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。

5 モニタパネルの電源ボタンを長押しして電源を切ります。



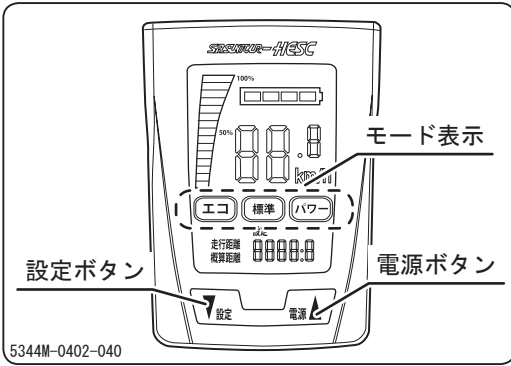
● モニタパネルの表示と機能

参照 モニタパネルの表示…15ページ～「各部の名称とはたらき」



1 電源ボタンの長押しで電源を入切します。

運転と操作 4



2 電源投入時はアシストモードは「標準」になっています。設定ボタンまたは電源ボタンを押すと、モードが下図のように切り替わります。

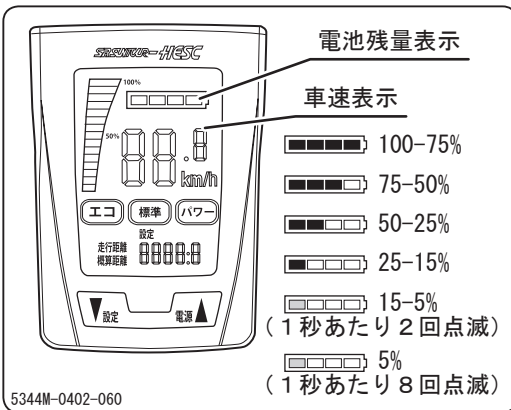


5344M-0402-050

アドバイス

- この場合は電源ボタンは長押し（2秒以上）しないでください。

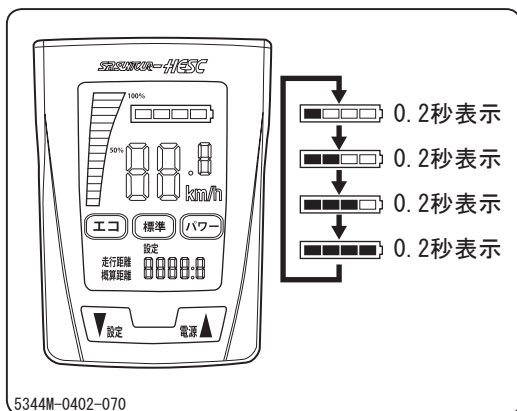
運転と操作



3 車速表示部に現在の車速を表示します。

4 電池残量表示部に電池残量を表示します。

4 運転と操作

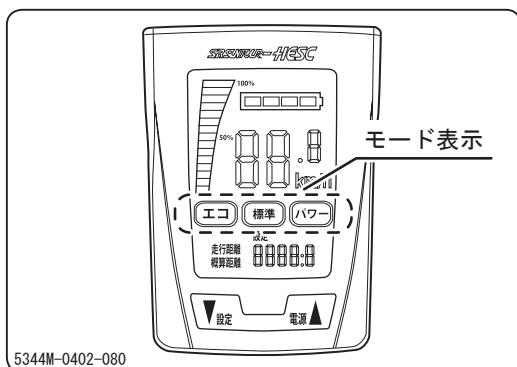


5 回生動作中はバッテリー残量計に左図のように表示され、回生動作が行われていることを知らせます。

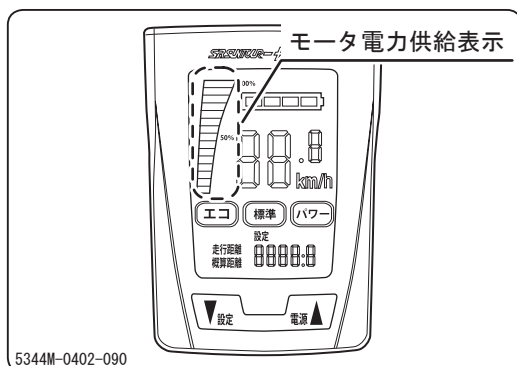
アドバイス

- ・回生とは、減速時にアシストモーターを発電機として使い、ブレーキ力を発生させるとともにバッテリーを充電する機能です。
- ・次の場合は回生は無効となります：
 - バッテリー高電圧時
 - バッテリー・セル高温時
 - 高車速時

運転と操作

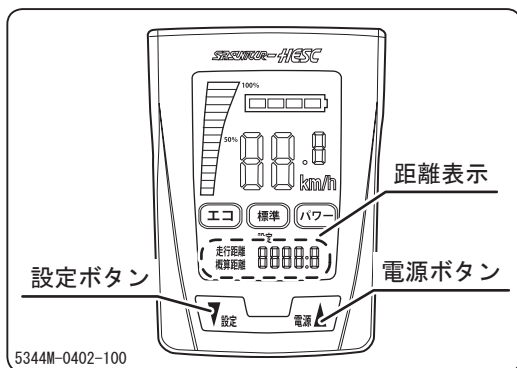


6 モーター、またはコントローラが一定以上の温度を検出した場合は、選択中のモード表示が点滅して温度異常を通知します。



7 モーター電力表示部にモーターへの電力供給状況が16段階で表示されます。

運転と操作 4



- ⑧ 設定ボタンを押すと走行距離（トリップメータ）と積算距離（オドメータ）の表示を切り替えることができます。設定ボタンと電源ボタンを同時に押すと、走行距離が0にリセットされます。

参照

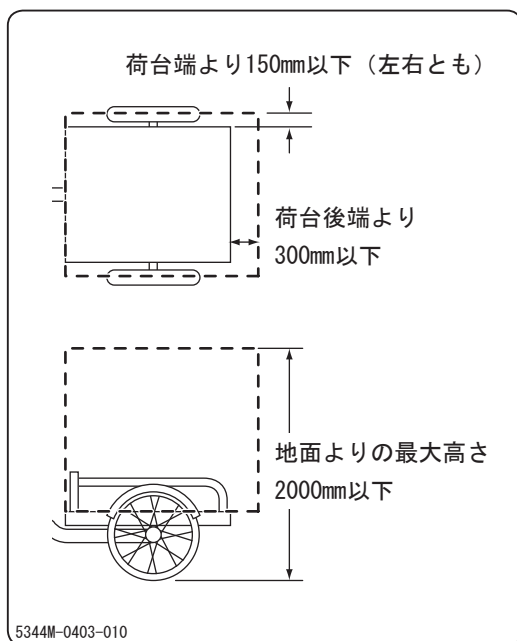
モニタパネルのその他の機能については…50ページ「モニタパネル」もご覧ください。

4 運転と操作

積載について

警告

- 最大積載量、積載物のサイズなどの積載条件から外れる荷物はつまないでください。
- 最大積載量は各都道府県公安委員会の規則により異なります。使用者の責任で確認の上、順守してください。
- 荷台以外に荷物を積まないでください。荷物は確実に固定してください。
- 荷台に乗車しないでください。また、運転者以外は乗車しないでください。



- 1 荷台に荷物を載せ、ヒモなどで確実に固定します。

アドバイス

- 荷台の最大許容荷重：60kg
（この数値は荷台が耐えられる最大の荷重ですが、法規で異なった数値が決められています。荷台の最大許容荷重と法規上の最大積載量のうち、小さい方の質量を超える積載はしないでください。）
- 質量別クラス：クラスS

定期点検について

⚠ 注意

- ・点検や整備を怠ると事故の原因となります。本製品の正常な機能を維持するために下表を参考に定期点検を行ってください。
- ・点検および作業を行うために開けたり外したりしたカバーは、作業終了後、必ず元に戻してください。

●車両の点検

日常点検

毎日の使用の前に、21ページの始業点検表に従い始業点検を行なってください。

定期点検

- ・初回2ヶ月点検：使用初期にネジの緩みなどが発生することがあります。お買い上げ後、2ヶ月時に販売店で点検・整備を行なってください。
- ・安全にご使用いただくために、毎年一回定期点検を行ってください。
- ・異常を感じた場合は、ただちに販売店での点検・整備を受けてください。
- ・点検・整備内容の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。ユーザー自身で実施できない点検内容については販売店へ依頼してください。

5 保守・お手入れ

注油一覧表

⚠ 注意

- ・注油がおろそかになると、焼き付きや錆び付きの原因となり、作動が円滑に行われなくなるおそれがありますので、定期的に注油を行ってください。
- ・ブレーキ液は使用するうちに劣化します。目に見える汚れがなくても、定期的に交換してください。
- ・注油禁止箇所には絶対に注油しないでください。

●注油一覧表

項目	補給(交換)時期	推奨品	容量
チェーン	半年毎	自転車用チェーン油	-
フロントブレーキワイヤ、変速ワイヤ	随時	軽質油(スプレー式潤滑油など)	-
ブレーキ	2年毎(交換は必ず販売店に依頼してください。)	自転車用ミネラル系ブレーキ液	-

●注油禁止箇所一覧表

⚠ 警告

- ・タイヤワックスは使用しないでください。。

注油禁止箇所

前ブレーキ：リム、ブレーキシュー

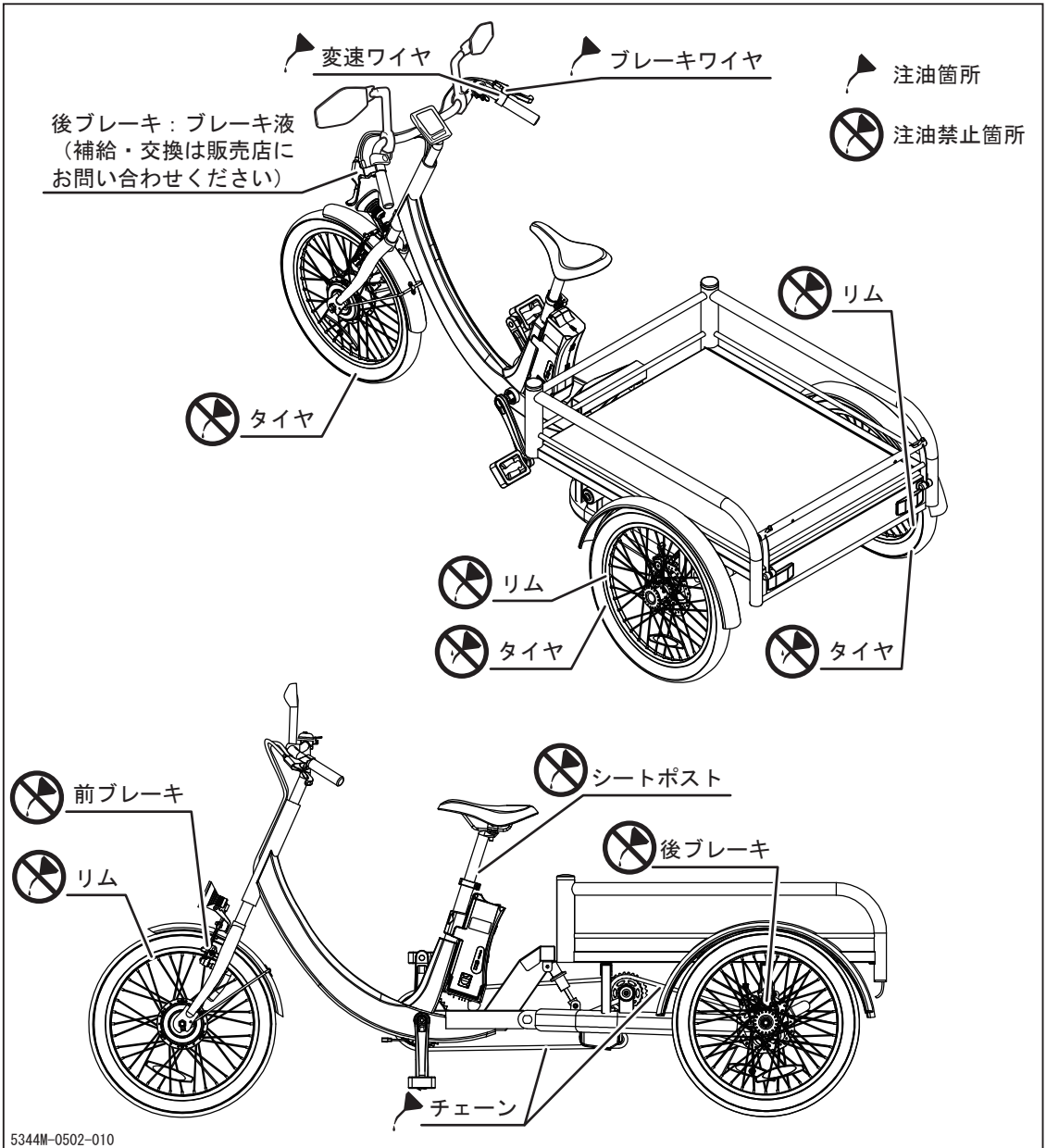
後ブレーキ：ブレーキローター、ブレーキパッド

タイヤ

シートポスト

5 保守・お手入れ

●注油・注油禁止箇所



保守・
お手入れ

保守・お手入れ 5

消耗部品（交換部品）一覧表

●消耗部品（交換部品）一覧表

⚠ 注意

- ・弊社製品のメンテナンスや部品交換を実施されるときは、必ず当社純正部品をご使用ください。純正部品以外をご使用になりますと、保証が適用されない場合もありますのでご注意ください。

項目	部品番号	交換インターバル	個数	
車体				
タイヤ	4107 1203 000	2年毎、またはトレッドの溝が無くなる前	3	
チューブ	4107 1204 000	2年毎、またはタイヤ交換時	3	
リムテープ	4107 1205 000	2年毎、またはタイヤ交換時	3	
フロントブレーキ	4107 1209 000	2年毎、または溝の残りが1mm以下になったとき	1	
リアブレーキ	4107 3006 000	パッドの厚みが0.8mm以下になったとき	1	
ブレーキワイヤ	4107 3009 000	2年毎、または不具合があるとき	1	
変速ワイヤ	アウター	4107 3007 000	2年毎、または不具合があるとき	1
	インナー	4107 3008 000	2年毎、または不具合があるとき	1
電装品				
バッテリー	4107 5203 000	1回の充電あたりの走行距離が著しく短く（新品時の50%以下）なったとき	1	
前照灯	4107 1219 000	点滅したり、点灯しなくなったとき	1	

- ・タイヤなどのゴム製品は摩耗していなくても劣化しますので、2年毎もしくは傷んだときは新品に交換してください。また、ブレーキワイヤ、変速ワイヤは異常がなくても2年毎に交換してください。

- ・詳細なパーツリストについては、キャニコム・ホームページをご覧ください。

5 保守・お手入れ

● バッテリーの交換について

バッテリーは充放電を繰り返すと出力できる容量が低下していきます。バッテリーの劣化が進むと、一回の充電あたりの走行距離が短くなります。バッテリーの交換時期は使用状況や充電の仕方などによって変わってきますが、一回の充電あたりの走行距離が著しく短くなり、それが充電によって回復しなければ、バッテリー交換時期です。

リチウムイオンバッテリーの交換時期の目安

バッテリーの容量は、約700サイクル（※1）の充放電で新車時の約半分になります。ただし、これは目安であり保証値ではありません。バッテリーの交換時期は使用状況や保存環境、充電環境温度や走行状態などにより異なってきます。条件によっては上記の目安より早く交換が必要になることがあります。

※1 1サイクル＝バッテリーを最後まで使いきった後、満充電まで充電すること

バッテリーの交換に関するお願い

バッテリーは、必ず純正品をお使いください。再生リチウムイオンバッテリー（※2）は故障や性能低下のおそれがあるため、使用しないでください。

※2 使用済みのバッテリーの中身だけを交換した再生品

使用済みバッテリーのリサイクルのお願い

リチウムイオンバッテリーは、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」で、使用後の回収及び再資源化が義務付けられています。使用済みになったバッテリーは、販売店へお出してください。販売店で回収されたバッテリーはリサイクルされ、資源として再利用されます。

弊社は小型充電式バッテリーの回収・リサイクルを実施する「一般社団法人JBRC」に参画し、リサイクル活動を推進しています。リサイクル協力店をお探しの場合は下記ホームページよりご検索ください：
<http://www.jbrc.com>

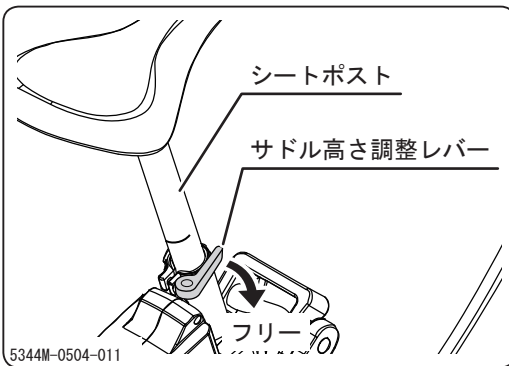
保守・お手入れ 5

各部の調節のしかた

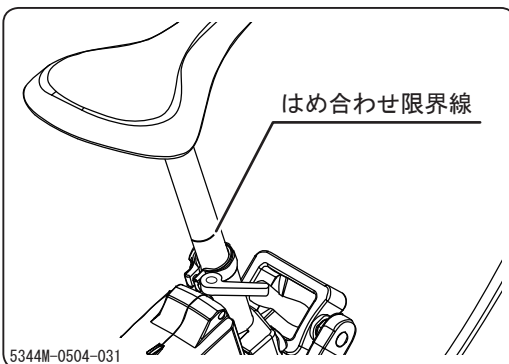
●サドルの調節のしかた

⚠ 注意

- 使用者の体格に合わせてサドルの高さを調節してください。
- はめ合わせ限界線が見えるまでサドルを上げないでください。
- サドル高さ調節後は締め付けを確認し、がたつき、緩みがないか確認してください。



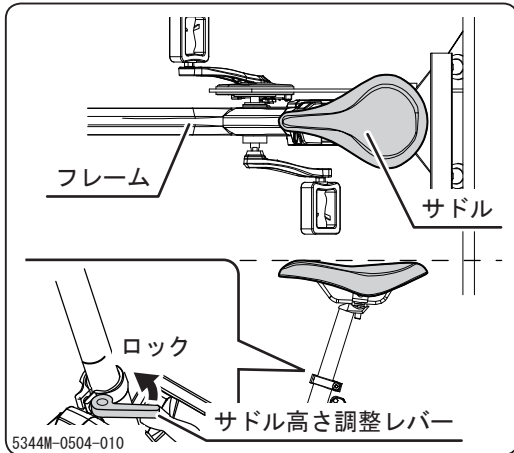
- 1 サドル高さ調整レバーを矢印の方向（フリー）に動かして緩め、サドルの高さを調整します。



- 2 シートポストのはめ合わせ限界線が見えていないことを確認してください。はめ合わせ限界線が見えている場合は見えない位置までサドルを下げてください。

保守・
お手入れ

5 保守・お手入れ



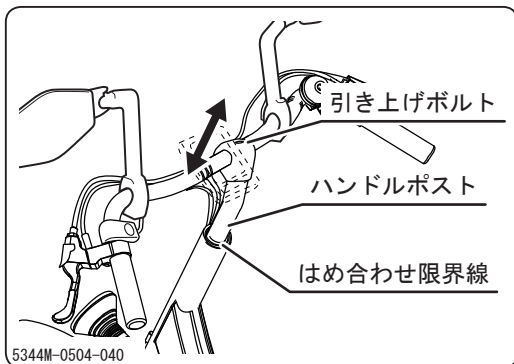
3 サドルがフレームに対してまっすぐになっており、サドル上面が地面と平行になっていることを確認してからサドル高さ調整レバーを元の位置に倒し、ロックします。

4 サドルが確実に固定されていることを確認します。

●ハンドルの調節のしかた

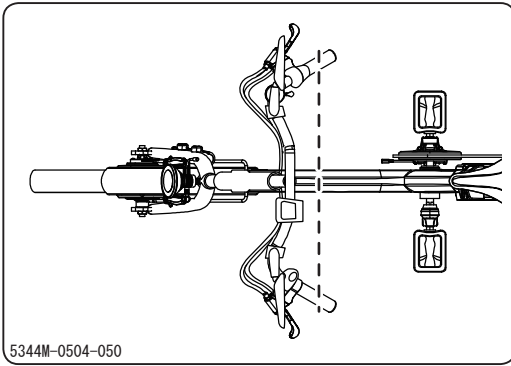
⚠ 注意

- 使用者の体格に合わせてハンドルの高さや角度を調節してください。
- はめ合わせ限界線が見えるまでハンドルを上げないでください。
- ハンドル調節後は締め付けを確認し、がたつき、緩みがないか確認してください。

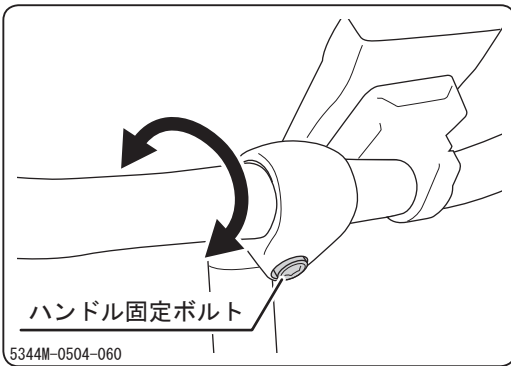


1 ハンドル引き上げボルトを緩め、ハンドルの高さを調節します。ハンドルポストのはめ合わせ限界線が見えるまでハンドルを上げないでください。

保守・お手入れ ⑤



- ② ハンドル引き上げボルトを緩めると、サンドルが左右に回ります。ハンドルをまっすぐにして引き上げボルトを締めてください。



- ③ ハンドル固定ボルトを緩めると、サンドルが前後に回ります。ハンドルを使いやすい角度にしてハンドル固定ボルトを締めてください。

● ブレーキの調整のしかた

⚠ 警告

- ・ブレーキの調整が必要な場合は販売店にご依頼ください。

前ブレーキの調整

本製品の前ブレーキはレバー式のVブレーキです。ブレーキシューの摩耗、ブレーキ性能の低下などが発生した場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。また、ブレーキワイヤは必ず2年毎に交換してください。ブレーキワイヤの交換についても、販売店にお問い合わせください。

5 保守・お手入れ

後ろブレーキの調整

本製品は後ブレーキに油圧式ディスクブレーキを採用しています。油圧式ディスクブレーキには調整する箇所はありません。ブレーキパッドの摩耗、ブレーキ性能の低下などが発生した場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。また、ブレーキ液（ブレーキオイル）は時間の経過にともない劣化します。ブレーキ液は必ず2年毎に交換してください。ブレーキ液の交換についても、販売店にお問い合わせください。

●チェーン調整のしかた

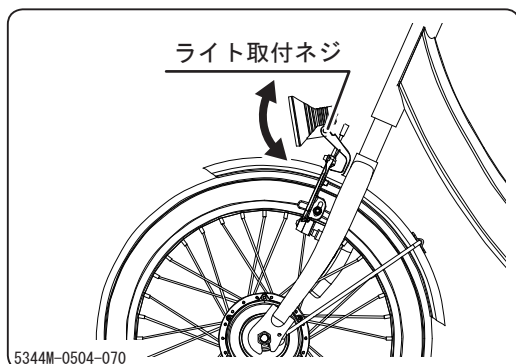
⚠ 警告

- ・チェーンの調整が必要な場合は販売店にご依頼ください。

保守・
お手入れ

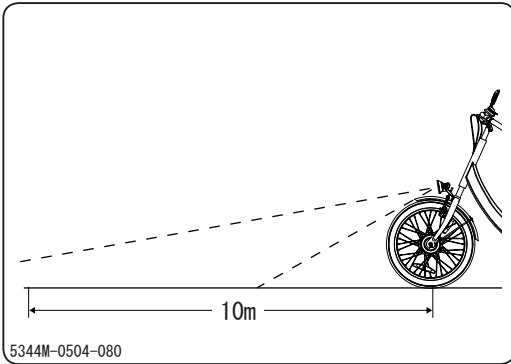
チェーンが摩耗するとたるんでいきます。チェーンのたるみが大きくなると走行中にチェーンが外れやすくなり、大変危険です。チェーンがたるんだ場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

●ライトの調節のしかた



- 1 ライト取付ネジを緩め、ライトの角度を調節します。

保守・お手入れ 5

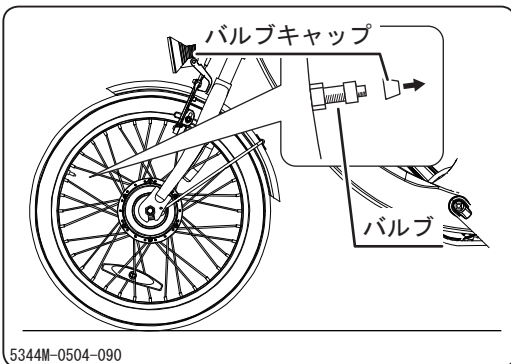


- 2 車体の前方約10mの路面が見えるようにライトを調節し、取付ネジを締めます。

● タイヤ空気圧の調整

⚠ 警告

- ・ タイヤは必ず指定の空気圧で使用してください。不正な空気圧で使用すると操縦安定性の低下や走行距離の低減、タイヤの異常摩耗などが起こる可能性があります。



- 1 車両を水平な場所に駐車します。
- 2 バルブキャップを取り外します。
- 3 タイヤの空気圧を点検し、標準値でない場合は調整します。
- 4 バルブキャップを取り付けます。

保守・
お手入れ

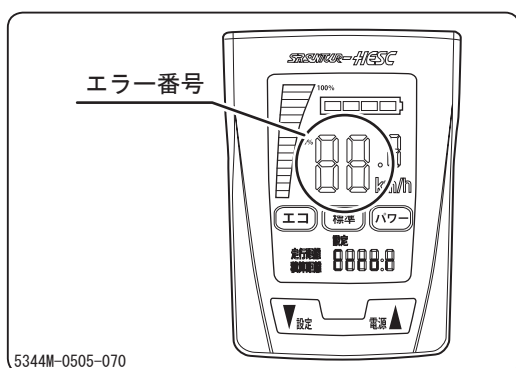
5 保守・お手入れ

	タイヤサイズ	空気圧 KPa(kgf/cm ²)
標準仕様 前輪	20 - 1.95	240 (2.45)
標準仕様 後輪	20 - 1.95	240 (2.45)

モニタパネル

●エラーメッセージ

エラーが発生した場合は、走行距離表示部に「Error」と表示され、速度表示部にエラーコードが表示されます。エラーが発生した場合は販売店にお問い合わせください。



保守・
お手入れ

表示	エラー事象
00	通信エラー：モニタパネルはコントローラの信号を受信出来ない。
01	<Reserve>
02	<Reserve>
03	<Reserve>
05	<Reserve>
11	<Reserve>
12	コントローラ加熱
13	モータ加熱
21	<Reserve>
22	コントローラ回路エラー

保守・お手入れ 5

表示	エラー事象
23	モータHALL ICエラー
31	モータケーブルエラー
32	通信エラー：コントローラはモニタパネルの信号を受信できない。
33	通信エラー：コントローラとバッテリーとの間の通信に障害発生。

22、23以外は電源の再投入で復旧。22と23はエラー事象の解決で自己復旧。

使用後のお手入れ

●通常使用後のお手入れ

⚠ 注意

- ・洗車はしないでください。水の浸入による故障のおそれがあります。

1. 乾いた布やブラシで泥や土、ホコリを落とします。
2. 頑固な汚れは台所用中性洗剤を薄めて拭き洗いします。
3. 注油箇所に注油します。

👉 アドバイス

- ・湿気が多いところや海岸沿いでご使用される場合は、錆びやすいのでお手入れの回数を多くしてください。

5 保守・お手入れ

- 本製品にはステンレスで作られた部品があります。ステンレスは通常の鉄よりは錆びにくいですが、使用状況によっては錆びることがあります。
 - ステンレスに付着した鉄粉などが錆びることにより「もらい錆」が発生することがありますので、鉄工所の近辺など鉄粉の付着のおそれがある場所ではお手入れを頻繁に行なってください。
 - ステンレスは塩素に弱く、錆びることがあります。塩分や塩素系の洗浄剤などが付着したときは、水を含ませた布でしっかり拭きとってください。
- 駆動ユニットやバッテリー、手元のスイッチなどは生活防水性能を備えていますが、水をかけながらの洗車や、水圧のかかる洗車おは行わないでください。万一これらの部品に水が侵入した場合は、ただちに使用を停止し、速やかに販売店にお問い合わせください。・バッテリーケースの汚れは、水を含ませた布などで拭きとってください。
- シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。塗装が剥げたり、樹脂部品が侵される可能性があります。
- サドルにはワックスをかけないでください。座った時、体の安定が保てません。
- 雨天走行後はリム側面のブレーキシュー接触面の砂や泥を拭きとってください。

長期保管のしかた

⚠ 警告

- ・火気のある場所に格納しないでください。火災のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・洗車をしないでください。水の浸入による故障や錆び付きのおそれがあります。
-
- ・付着物は凍結して故障の原因となりますので、きれいに取り除いてください。
-
- ・湿気やほこりの多い場所に格納しないでください。

1. 車両を駐車します。
2. 車両に堆積した草や付着した泥等を取り除きます。
3. 「始業点検表」(21ページ)に従って各箇所の点検を行い、不具合があれば清掃します。
4. 鋼板部分を油のしみた布で清掃し、給脂箇所に給脂します。
5. タイヤに空気を適正空気圧まで入れます。
6. 車止めをし、駐車ブレーキをかけます。
7. 防水カバー等をかけて保管します。
8. 1ヶ月以上使用しない場合はバッテリーを車体から外し、50%程度充電してから涼しい湿気のない場所で保管してください。(27ページ)

5 保守・お手入れ

アドバイス

- ・バッテリーは使用しなくても放電してしまいます。完全に放電してしまうと充電できなくなります。完全に放電する前に補充充電するとバッテリーを長持ちさせることができます。

廃棄

⚠ 注意

- ・自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

- ・自転車を廃棄するときは、お住いの地域の条例やルールに従ってください。
- ・リチウムイオンバッテリーは資源有効利用促進法でリサイクルが義務付けられています。使用済みのバッテリーは廃棄せず、販売店あるいはリサイクル協力店にお持ちください。
- ・弊社は小型充電式バッテリーの回収・リサイクルを実施する「一般社団法人JBRC」に参画し、リサイクル活動を推進しています。リサイクル協力店をお探しの場合は下記ホームページよりご検索ください：<http://www.jbrc.com>

不具合発生時の処置 6

●不具合診断表

- ・不具合と考えられる現象が起きた場合は本製品の使用を停止し、下記の不具合診断表を参照して適切な処置をとってください。不具合診断表に記載されていない不具合が発生した場合や、適切な処置をとっても不具合が解消されない場合は、販売店へ連絡してください。
- ・下記の処置内容の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。ユーザー自身で実施できない処置内容については販売店へ依頼してください。

不具合現象	症状	処置
ペダルが重い・アシストしない	モニタパネルの電源ボタンを押しても、液晶表示部が点灯しない	●バッテリーが確実に取り付けられていない可能性があります。 →バッテリーの取り付けを確認します。 ●バッテリーの残量表示ボタン（PUSHボタン）を押した時に全てのLEDランプが速い点滅（1秒周期）する場合はバッテリー不良の可能性があります。 →販売店へお問い合わせください。
	バッテリーの残量表示ランプが点灯しない	●バッテリーの充電が不足しています。 →バッテリーを充電してください。
	モニタパネルの速度表示部に「00」、「23」、「31」、「32」または「33」が表示される	●配線の緩みやコネクタの外れが考えられます。 →配線の接続を確認してください。それでもエラー表示が続く場合は販売店へお問い合わせください。
	モニタパネルの速度表示部に「12」または「13」が表示される	●高温時や高負荷時にドライブユニットやバッテリーの温度が上がると、保護装置が働くことがあります。 →バッテリー、ユニットの温度が下がるまで休ませます。

不
具
合
発
生
時
の
処
置

⑥ 不具合発生時の処置

不具合現象	症状	処置
ペダルが重い・アシストしない	モニタパネルの速度表示部に「22」が表示される	●コントローラ異常の可能性があります。 →販売店にお問い合わせください。
	アシストがかかったり切れたりする	●配線の緩みや端子の汚れなどが考えられます。 →配線の接続を確認してください。症状が続く場合は、販売店にお問い合わせください。
	アシストがかからない	●停止後10分以上経過している場合は電源が自動的にオフになっています（オート・パワー・オフ）。 →電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
	バッテリーの残量表示ボタン（PUSHボタン）を押した時に、全ての残量表示LEDランプが遅い点滅（2秒周期）をする	●充電待ち（スタンバイモード）になっていますので、そのままお待ちください。通常モードに戻ります。通常モードに戻るのが遅い場合は温かい所（寒冷時）や涼しい所（高温時）に移動してください。 →バッテリー、ユニットの温度が下がるまで休ませます。
充電できない	バッテリーの残量表示LEDランプが点灯しない	●充電器が正しく接続されていない、または充電器のプラグが汚れている可能性があります。 →充電器のプラグを清掃し、バッテリーに正しく接続してください。
		●充電器の電源プラグが正しく接続されていない可能性があります。 →電源プラグを接続しなおしてください。それでも作動しない場合は販売店にお問い合わせください。
		●バッテリーがすでに満充電になっている可能性があります。 →バッテリーの残量表示ボタンを押して確認してください。満充電からの再充電はできません。

不具合発生時の処置 6

不具合現象	症状	処置
充電できない	バッテリーの残量表示LEDランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリー残量表示ボタンを押した時、全てのLEDランプが早い点滅（1秒周期）をする場合はバッテリーの故障の可能性があります。 →販売店にお問い合わせください。
走行距離が短い	モニタパネルのバッテリー残量計が短い走行で点滅を始める	<ul style="list-style-type: none"> ●充電量が不足しています。 ●長時間使用していない後は、バッテリーの充電量が減っていることがあります。 →バッテリーを充電してください。 ●初めて使用するバッテリーは充電が必要です。 →バッテリーを初めて使用するときは、完全に充電してから使用してください。 ●道路の路面状態や変速位置、過酷な走行などにより、走行距離が短くなることがあります。 ●冬期はバッテリーの特性上、性能が低下します。 ●タイヤの空気圧が減っている可能性があります。 →タイヤの空気圧を確認し、指定圧より低い場合は空気を入れてください。 ●ブレーキを引きずっている可能性があります。 →販売店にてブレーキの調整を行なってください。 ●充電を繰り返すことや、長時間の使用でバッテリーの性能は低下します。 →一回の充電で走行できる距離が著しく短くなった場合（新品時の50%以下）は、バッテリーを交換してください。

不
具
合
発
生
時
の
処
置

⑥ 不具合発生時の処置

不具合現象	症状	処置
その他の充電異常	バッテリーや充電器が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電中、充電器はある程度熱くなります。 ● 手で触れられないほど熱くなる場合は異常です。 →ただちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 充電器から煙が出る、または異音、異臭がする。 →ただちに使用を中止し、販売店にお問い合わせください。
	充電が完了したのに、バッテリーの残量表示ランプが5個全部点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電完了前の中断。 →再度充電してください。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 充電器プラグの汚れ。 →プラグを清掃して再度充電してください。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 長期間使用したバッテリー。 →バッテリーの寿命の可能性があります。バッテリーを交換してください。